

議 長 町長の提案説明が終わりました。これより監査委員の審査報告を求めます。
代表監査委員 鍵和田毅志君。

代表監査委員 それでは3ページをお開きいただきたいと思います。そちらに監査報告書が印刷してございますので、それを読み上げて監査報告に代えさせていただきます。

松監第1号、令和5年7月28日、松田町長 本山博幸殿。松田町代表監査委員 鍵和田毅志。松田町監査委員 中野博。

令和4年度松田町一般会計、特別会計歳入歳出決算及び上水道事業会計決算並びに基金運用状況審査意見書の提出について。地方自治法第233条第2項並びに地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された、令和4年度松田町一般会計及び特別会計歳入歳出決算書並びに上水道事業会計決算書、その他の関係証書類について審査し、また地方自治法第241条第5項の規定により基金運用状況を審査したので、その意見を次のとおり提出します。

令和4年度松田町一般会計、特別会計歳入歳出決算及び上水道事業会計決算並びに基金運用状況審査意見。

審査の対象。1、一般会計。令和4年度松田町一般会計歳入歳出決算。2、特別会計。令和4年度松田町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算、同じく、令和4年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計歳入歳出決算、令和4年度松田町寄簡易水道事業特別会計歳入歳出決算、令和4年度松田町下水道事業特別会計歳入歳出決算、令和4年度松田町介護保険事業特別会計歳入歳出決算、令和4年度松田町用地取得特別会計歳入歳出決算、令和4年度松田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算。3、公営企業会計。令和4年度松田町上水道事業会計決算。4、令和4年度松田町一般会計並びに特別会計歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書。5、令和4年度松田町上水道事業会計損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分計算書及び貸借対照表。6、松田町定額資金運用基金運用状況。

審査の期間。令和5年7月10日から18日までの6日間。

審査の基本的態度。町長から提出された令和4年度松田町一般会計及び特別

会計歳入歳出決算、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書並びに上水道事業会計決算、損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分計算書及び貸借対照表等の審査に当たっては、関係法令の規定に従い、決算計数の正否、出納行為の適法性及び予算執行手続等の適否について、関係諸帳簿及び証書類等を審査するとともに、必要に応じ関係者の説明を聴取し、併せて例月出納検査時の資料を、次のページでございます。活用し、厳正かつ普遍的な審査を実施した。また、定額の資金を運用するための基金の運用状況の審査に当たっては、計数の正確性及び運用の適正かつ効率性について、同様に審査を実施した。

審査の結果。1、町長から審査に付された各会計決算書、財産に関する調書及び関係諸帳簿、同証書類等を精査したところ、いずれも正確に記載され、その内容も適正なものと認められた。2、本審査を通じて確認した予算の執行については、一部事務手続に改善を要するものを除き、関係法令に準拠して行われており、適正と認められた。

決算の概要。令和4年度の一般会計ほか特別会計及び企業会計は、予算現額91億1,619万9,000円に対し、決算額は歳入で87億7,802万7,000円、一般会計57億4,458万9,000円、特別会計ほか30億3,433万8,000円、歳出では81億4,296万8,000円、一般会計52億7,681万3,000円、特別会計ほか28億6,615万5,000円となり、歳入歳出差引額6億3,595万9,000円、一般会計4億6,777万7,000円、特別会計ほか1億6,818万3,000円が翌年度に繰り越されており、健全性は維持されているものと認められた。

また、予算の執行状況は、一般会計の執行率87.98%、前年度93.80%、上水道事業会計を除く特別会計が92.02%、前年度92.63%、上水道事業会計では90.08%、前年度86.01%の執行率となっている。執行内容としてはおおむね適正になされているものと認められた。工事等事業執行に当たっては、当初計画、仕様等を十分に踏まえ、最も安価で適正な方法が選択されていた。

3でございます。基金の運用状況を示す書類については、審査の結果、計数は誤りのないものと認められ、その運用は所期の目的に沿ってなされており、

関連する事務の処理は、全ての重要な点において適正に行われていると認められた。

4、審査における指摘事項。教育費は全体的に不用額が多い。執行できなくなった理由はあるのは分かるが、当初予算に計上した理念に基づき事業を執行すべきであり、また、教育費の各費目で不用額が多い状況は芳しくなく、予算積算が過剰であると言える。教育費の予算が適切に計上されていれば、その分を他の行政サービスに係る予算に計上できたことに鑑み、予算積算を見直されたい。

(2) です。酒匂川健楽ふれあい広場は、長期間にわたって使用できない状況にあるため、廃止を含めた施設の将来的な方針を決定されたい。

(3) 特産品開発事業補助金については、令和4年度決算を含め補助金の交付実績が数例あるが、今のところ町の特産品として大成したものは無い。公金を使っている以上、成果を問われることになるため、審査基準を見直されたい。また、補助金交付後の状況を検証されたい。

(4) 国民健康保険診療所事業特別会計では、財政調整基金からの繰入れをしなければ赤字収支になっている。診療収入を増加させる方策を検討し、健全な会計運営になるよう努められたい。

(5) 番目でございます。上水道事業会計では、水道使用料の滞納額が1,000万円近くにも増えているため、未収金対策を強化されたい。また、その他の会計についても、自主財源の確保と税負担の公平性の観点から、収納体質の強化を図られたい。

以上でございます。

議長 監査委員からの審査報告が終わりました。(発言を求める声あり) 田代君、何かありますか。

5 番 田 代 議長にお諮りいたします。私の記憶では、決算並びに基金運用状況審査意見書、これについて、慣例では特別なことがない以外は質問はしないということになっております。このような慣例がありますが、決算書4ページをお願いしたいと思います。決算書4ページの監査報告の中の中段になります。4番、

審査における指摘事項。この関係で代表監査委員のお考えをもう少し具体的にお伺いしたいということですので、よろしく願いいたします。

議 長 皆様にお諮りいたします。ただいま田代君より監査報告について、特に質疑したい旨、申出がありました。許可することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。田代君の質疑を許可します。

5 番 田 代 ありがとうございます。それでは、4ページの4番を…ごめんなさい、4ページの4、その(4)です。そこを見ていただきたいと思います。国民健康保険診療所事業特別会計では、財政調整基金からの繰入れをしなければ赤字収支になっていると。診療所収入を増加させる方策を検討、診療収入を増加させる方策を検討し、健全な会計運営になるよう努められたいと、このように指摘されております。

具体的には252ページをお願いしたいと思います。252ページが診療所の収入の決算になっております。そこの一番上段、診療収入2,646万円ほど入っております。指摘事項では、3番の繰入金、ここでは基金繰入金と入ってますが、それ以外に一般会計からの繰入金、特別会計からの繰入金、合計で968万1,000円、それを補填してます。その半分が基金繰入金ということになっております。単純な考えとして、健全経営で行くのであれば、繰入金も含めて968万1,000円、この額が赤字補填をして収支をつけているというふうに読めると思います。

その中で、例えば診療収入ですね、これについて、40%アップですと2,646万1,000円、これの4割アップすると1,058万になります。そうすると繰入金なしで完全に独立採算制になるのかなと。それと、基金だけ、監査委員は基金という言葉を使ってますから、基金が500万です。そうしますとこの半分ですから20%アップぐらい、そのようになっています。ここで監査委員も含みを持って、赤字収入になっているから診療収入を増加させる方策を検討ということで、非常に含みを持った言葉でした。本当に独立採算制であれば4割も診療収入を増やさないといけない。基金だけで言うと2割だということで、非常に、どちらかというと厳しい内容なのかなと。今の体制の中で収入増加というのは非常

に厳しいのかなということ、強硬に診療収入を上げるというのは、私は個人的には難しいのかなと。寄地区の医療を考えると診療所は維持しなければいけないと、そのような中で、ある程度の一般財なり基金の投入はやむを得ないのかなと私は考えます。

そういった私の個人的な考えなんですけれども、監査委員は、この指摘事項の（４）番に対して、どういうふうなお考えで記載されたのか、質問させていただきます。よろしくをお願いします。

代表監査委員　　まず1点、この辺の考えを述べよということですが、この辺については、私は執行側ではございませんので、この席で議事録に残る内容としてこれを述べていいかどうか、その辺だけ、議長さん、許可をするならしていただきたいと思います。私にはこれを、政策をどうこうするという権限はございませんので、それを議事録が残るような形で発表していいかどうか、それだけ御承知をいただきたいと思います。

議　　長　　質疑を許可したいと思います。

代表監査委員　　じゃあいいですか。

議　　長　　はい。

代表監査委員　　まず、私がここで、収支は均衡以上のものをという話は、先々代の山田医師のときに非常に基金等が積み上がってまいりました。特に現在の基金の名前を見ていただくと、診療所と国保、両方の名前で基金となっているはずでございます。当初、非常に国保が厳しいときに診療所が非常に黒字になってきた。だからどちらでも使えるような形でああいう基金の名称にしようということで、当初案を出したのは私でございます。それで、逆に現在は、たまたま医師が2回交代する中で診療所のほうは赤字ということになっていたわけでございます。それを各例月出納のたびに、担当課長には何らかの形でこれを解消するような格好を検討したほうがいいよということで指摘し、またそのたびにそれなりの回答は頂いたのですが、芳しく…結果として非常に芳しくない結果になっているわけでございますので、この辺で指摘事項として検討をしろということで記載をさせていただきました。

前の山田医師のときの黒字になった部分というのは、先生の評判と、それから、変な言い方ですが、不都合でしたら削除していただきたいと思いますが、当初、薬品ですね、薬が非常な量で頂いた部分がございます。実際に僕も何回も診療所に行ってその部分で頂いた部分がございます。当時の先生との雑談の中で、薬はこういう薬が医者としては一番もうかるんだよと、こういう高い薬があればこれを使っただけが一番いいんだよと。それと医者としてもうけるには、高血圧の薬とコレステロールの薬等というような具体的な名前を頂きながら、患者の確保をすれば医師としてこういうところでも黒字になるんだよというような言い方を暗に聞いたことがございます。それを今の医師にどうこうということは当然できない話でございますが、何らかの形で黒字の方向に向ける方策等はあるのではないかとということで、ここにこういうふうに記載をしました。

それと同時に課長に何回もお話したのは、現在の医師が、特にコロナ禍の中で、そういう専門の領域分野はございますので、それを町の広報とか、さらには町の、何ていうんですか、パソコンの中でのいろんな町のあれがございますね、宣伝する部分がございますね。その辺に医師がこういうものを得意の分野だとか、そういうものの診療所の宣伝もしながら、なるべく赤字が出ないような方策を考えたほうがいいのではないかとというような話も例月のたびに何回もお話をしたところでございます。

ただ、ただいま田代議員のおっしゃるように、やはりこればかりは先生のやり方、また薬の配付方法、いろんなものが、医療的なものが絡んできますので、素人がそれを強制するわけにはいきません。でも、町としては昔の山田先生以前の赤字を僕も承知してございます。それを思い出すと、非常な町の負担になるのではないかとということで、ここにわざわざというか、検討をすべきだということを書いたわけでございます。皆さんの御参考になるかどうか分かりませんが、そういう意味を含めてこの審査意見の中に、十分検討しろよということで記載したわけでございます。以上です。

5 番 田 代 代表監査委員、御丁寧な回答ありがとうございます。私も山田先生に関して

は、職員時代、いろいろ診療でもお世話になってます。患者としてお世話になってます。あと、うちの両親も寄の診療所に行ってお世話になってます。そのときに、薬の話とかありましたけれど、うちの親いわく、松田の寄の人だけじゃなくて町外の方も結構来られているということで、いわば伝説的な先生、本当にまれな先生で、非常にお金が上がって、これ、私の記憶だからちょっとずれているかもしれませんが、422ページに基金の一覧があります。そこをちょっと開けていただきたいと思います。422ページの中段です。そこに先ほど監査委員がおっしゃられたように国民健康保険事業と診療所事業、それを合算した調整基金ということでできてます。これが今現在3億8,000万です。当時、代表監査委員は財政等携わっていられたので、もっと詳しく私よりも記憶があると思うんですけど、たしか8億円ぐらいの数字で、国保会計が厳しいから診療所と合わせて8億円ぐらいの基金を作ったと、それで当分は乗り切れるだろうというふうな話があったと思います。それが少しずつ減っていると。一番の原因は国保のほうなんですけれども、たまたま今回は診療所という言葉が出ましたのでね、あえてお伺いさせていただきました。

監査委員の指摘のように、やはり親方日の丸だけではなくてね、やはり少しでも売り込んで外来の収入、診療収入を増やすようにして、それが4割だと相当厳しいんですけども、2割とか1割増やすような形であれば、一般財、そういったものの繰入れ、財政基金も少し楽になるのかなということで質問しました。また、この後に各会計の審査があるんですけど、私は、やはりこの問題で国保と診療所の財政調整基金、この辺の額がもっと大きいんでね、この辺についてもまたそのときに質問させていただきたいんですけども、一応そういうことがありましたので、監査委員には申し訳ないんですけども、お考えをお伺いした次第です。ありがとうございます。終わります。

議 長 鍵和田代表監査委員には、ありがとうございました。

それでは、鍵和田代表監査委員にはこれで退席していただきたいと思います。ありがとうございました。

(代表監査委員 退席)